



# はなのき

神坂小学校だより No.13 2025.3.24



## 子供たち全員の成長を感じた「6年生を送る会」

校長 伊藤 博章

早いもので、もう1年が過ぎようとしています。この1年間で、全校児童48人はお互いに支え合いながら大きく成長しました。毎日の授業や行事等の中でそれぞれの成長を感じる場面がたくさんありましたが、中でもそれを強く感じたのが先日行われた「6年生を送る会」でした。

コロナ禍以降、この行事の各学年の発表は6年生の前で入れ替わりながら行っていました。そのため6年生以外は他の学年の発表を見ることがありませんでした。しかしながら、この学年発表は互いの成長を認め合えるいい機会でもあります。そこで今年度の6年生を送る会は、全校がそろった中で行うことにしました。

今年度の送る会のめあては「ありがとうの気持ちを伝えて、安心して卒業してもらおう」でした。前日に、1年生に「送る会でどんな気持ちを伝えたい？」と尋ねたところ、「ありがとうのきもち」という返事が返ってきました。当日までの準備等の段階で、全校が同じ願いをもって取り組んでいるんだなあとうれしい気持ちになりました。

5年生が中心となって会を進行しましたが、返事や話す声の大きさが聞き取りやすく、スタートの段階から「最高学年を引き継ぐんだ」という思いが伝わってきました。各学年の出し物では、それぞれの持ち味を生かしながら発表でき、とても心温まる会となりました。5年生の三味線発表への全校児童の合いの手からは、神坂小学校の一体感を感じました。発表をする側も、それを観る側も、どちらも優しい表情になった時間でした。

会の中で、様々な決意や思いが込められた言葉をたくさん聞くことができました。6年生からは「目標をたて、希望をもち、様々なことに取り組んでください。」という在校生へのメッセージを。5年生からは「笑顔があふれる神坂小にしていきます。」「普段なかなか言えない感謝を伝えられたし、最高学年になる覚悟がもてました。」という決意を。4年生からも「3, 4年らしく、残り1か月を大切にします。」という決意を。それらの言葉の実現に向けて動くことで、今年度を締めくくり、来年度を気持ちよくスタートしたいです。

最後に、5年生は企画から運営まで中心となって活躍することができ、「やりきった」という満足感いっぱいの表情も印象的でした。6年生から「来年度の神坂小学校を安心して任せられる」と思ってもらえる頼もしさが伝わる「6年生を送る会」でした。



### <保護者や地域の皆様へ>

保護者や地域の皆様のご理解とご協力に支えられ、無事に1年を終えられることを大変うれしく思っています。来年度は神坂小学校のラストイヤーになります。子供たちのよさを引き出し、学んだことを表現する力を高められるよう、職員一同精一杯取り組んでいきます。本年度同様にご支援やご協力をいただきますよう、よろしくお願ひします。1年間ありがとうございました。